

科目名	運動学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	38回	時間数	75時間 (4単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
理学療法では障害を持った方の動作の異常を評価、治療していく。そのためにはその動作を客観的に捉えて、言葉として記録できないと、他の専門職や一般の人たちに伝えることができない。運動学では人の動きと、その仕組みを理論的に説明する能力を身につけてもらう。								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義とワークブック（臨床運動学ワークブック,辻下守弘 他,医学書院）を実施する。生理学,解剖学を復習しておくことが必須となる。また教科書は必ず持参すること。わからないことがあったらそのままにしないで、まず自分で調べ、それでもわからない場合、担当教員に質問をすること。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
基本的な動きのメカニズムについて自分の言葉で説明できる。								
回数	講義内容							
1	運動学概論・物理学							
2	〃							
3	解剖生理学・運動学基礎							
4	〃							
5	基本動作のメカニズムについて							
6	関節運動のメカニズムについて							
7	脊柱							
8	〃							
9	胸郭							
10	〃							
11	肩甲帯・肩関節							
12	〃							
13	肘関節・前腕							
14	〃							
15	手関節・手指							
16	〃							
17	復習							
18	〃							
19	股関節							
20	〃							
21	膝関節							
22	〃							
23	足関節・足部							
24	〃							
25	顔面							
26	〃							
27	神経系							
28	〃							
29	運動学習・姿勢							
30	〃							
31	運動発達							
32	〃							
33	歩行動作基礎							
34	摂食・嚥下のメカニズムについて							
35	活動（運動）を実行・継続するメカニズムについて							
36	活動（行動）を営む上での精神・心理機能（モチベーション）について							
37	まとめ							
38	〃							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
基礎運動学第6班補訂、授業時に必要なプリント資料を配布する。								
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
筆記試験にて評価する								